

平成30年度 文京区立金富小学校 授業改善推進プラン

第3学年

教科	指導上の成果と課題の分析→	授業改善の具体的な方策
国語	<ul style="list-style-type: none"> ・昨年度末の達成率は85%であった。自分の考えや気持ちを表現すること・相手や目的に応じて、話の中心に気を付けて話したり聞いたりすることに課題がある。 【話すこと・聞くこと】 ・順序を整理して書くことができるようにはなっているが、伝えたいことの要点を整理して書くことに課題がある。 【書くこと】 ・昨年度末の達成率は95%と高かった。しかし、内容や感想などを伝え合ったり、書かれている内容について動作化したりすることで、登場人物の心情が読み取れるようになったり、内容の理解に結びついたりしてきた。読書に対する関心・意欲の高い児童が多いが、ジャンルに偏りがある。 【読むこと】 ・昨年度末の達成率は87%であった。漢字の学習については「へん」や「つくり」を意識して進んで学習している。既習の漢字を活用できるようにすることが課題である。また、国語辞典の引き方ができていないことが課題である。 【言語事項】 	<ul style="list-style-type: none"> ・朝の会などで話す題材を事前に提示し、スピーチをする場を設定する。スピーチメモを作り、話す順序や中心点を整理して話せるようにする。 ・組み立てメモをもとに、中心となる内容や順序を明確にしていく活動を繰り返し取り組ませる。 ・様々なジャンルの本の読み聞かせを通して本の紹介をしていく。引き続き、読書検定カードを活用し、進んで読書ができるようにする。 ・漢字の定着を図るため、定期的に小テストを行ったり、ドリル学習を計画的に行ったりさせる。また、言葉のきまりや新出漢字の短文作りの学習を中心に、国語辞典の活用を促して、辞書を利用する習慣をつけさせる。
社会	<ul style="list-style-type: none"> ・地域間の違いや特色について、具体的に例を挙げて考え、表現することに課題がある。 【思考・判断・表現】 ・様々な場所の特徴について、資料の読み取りについては課題がある。 【技能】 ・地図記号に興味をもち、自主学習ですすんで調べているが、地図上の方位についての理解の定着に課題がある。 【知識・理解】 	<ul style="list-style-type: none"> ・事実から考えたことの見聞交流や新聞にまとめる活動を単元ごとに取り入れる。 ・自分たちの地域の資料だけでなく、他地域の資料を用いて比較して読み取り、読み取ったことをもとに考察できるようにする。 ・地図記号について繰り返し指導し、定着をはかる。また、ICT機器を活用して地図や写真などの視覚的な資料を提示し、地図上の位置関係を理解できるように指導する。

算 数	<ul style="list-style-type: none"> ・昨年度末の達成率は82%であった。問題を正確に読み取ることや、考えを式や言葉、図を使って説明することに課題がある。 【数学的な考え方】 ・昨年度末の達成率は92%と高かった。しかし、かけ算九九やたし算とひき算の筆算については、ほとんどの児童が定着しているが、約5%は、定着していない。 【技能】 	<ul style="list-style-type: none"> ・図や数直線に表し、自分の言葉で説明する活動を増やす。立式の意味を既習の算数用語を使って表す機会が多くもてるようにしたり、ペアやグループ等少人数で自分の考えを伝え合う場をもたせたりする。 ・引き続き、家庭学習やレベルアップタイムの時間などに基礎的・基本的な力が身に付くようにする。合わせて文章問題にも取り組ませる。
理 科	<ul style="list-style-type: none"> ・予想や仮説を立てる際、自分の考えを上手く表現できない児童がいる。 【思考・表現】 ・色・形・大きさの3つの視点から植物や昆虫の観察をすることのできる児童が多い。 【技能】 	<ul style="list-style-type: none"> ・実験や観察などの前に、予想や仮説をしっかりとつとができるように、ねらいに即した自然事象の提示を工夫する。自分の考えを表現するための手立てとして、考えを表すための言葉のヒントを提示する。また、表現の仕方を全体共有できるように発表したり、ICTを使って紹介したりできるようにする。 ・事物を比較する活動を通して、考察できるようにする。その際、ICT機器を活用して視点を明確にする。
体 育	<ul style="list-style-type: none"> ・運動への意欲の高まりが見られる。 【関心・意欲・態度】 ・運動の経験で個人差が大きいことが課題である。 【技能】 	<ul style="list-style-type: none"> ・単元のはじめに、全単元の学習の流れを示し、児童が見通しをもって、自らのめあてに向かって、さらに意欲的に取り組めるようにする。 ・ペアやトリオ、グループでの活動を多く取り入れ、友達と関わり合いを通して技能を向上できるようにする。ICTの機器を活用し、技能の向上のポイントを映像で確認する。